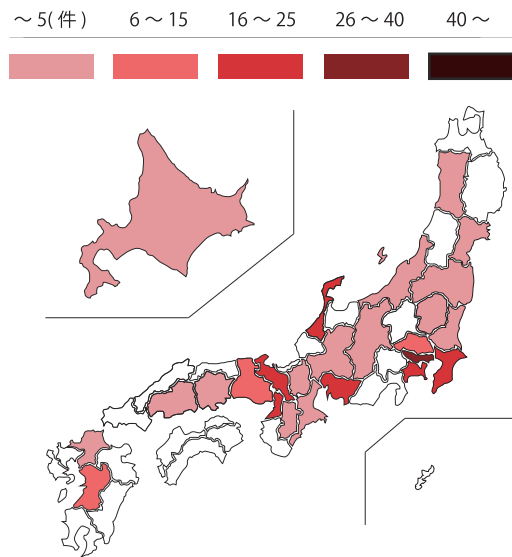


エントリー状況

エントリー 197 件の詳細




都道府県	件数	都道府県	件数
北海道	3	岐阜県	1
秋田県	1	愛知県	17
宮城県	2	三重県	1
福島県	1	滋賀県	4
茨城県	2	奈良県	1
栃木県	1	京都府	16
埼玉県	8	大阪府	17
千葉県	22	兵庫県	11
東京都	30	岡山県	1
神奈川県	16	広島県	3
新潟県	2	福岡県	3
長野県	5	熊本県	11
石川県	18		

高等教育機関一覧

金沢工業大学	慶應義塾大学	千葉大学	大同大学	近畿大学
大原情報デザインアート専門学校金沢校	工学院大学	横浜国立大学	名城大学	摂南大学
富山大学	国土館大学	神奈川大学	滋賀県立大学	近畿大学工業高等専門学校
北海道大学	芝浦工業大学	新潟大学	奈良女子大学	創造者デザイン専門学校
札幌市立大学	東海大学	長岡造形大学	京都大学	神戸大学
東北大学	東京都市大学	信州大学	京都工芸繊維大学	神戸芸術工科大学
秋田県立大学	東京農業大学	豊橋技術科学大学	立命館大学	明石工業高等専門学校
筑波大学	東京理科大学	名古屋大学	大阪大学	岡山理科大学
宇都宮大学	日本大学	名古屋工業大学	大阪市立大学	九州大学
フェリカ建築&デザイン専門学校	法政大学	名古屋市立大学	大阪芸術大学	九州工業大学
東京大学	明治大学	愛知工業大学	大阪工業大学	熊本大学
東京工業大学	早稲田大学	椋山学園大学	関西大学	


一次審査レポート

審査員より総評




熊澤 栄二
Eiji Kumazawa
石川工業高等専門学校教授

選出作品数を 40 作品に絞ったが、応募作品数も例年より減少したため通過率はさほど変化はなかった。当落線上の作品の質が上がってきており上位通過作品との差が無くなってきた。今後審査が厳しくなる傾向が続くので、応募者は提案する作品の「何を歴史的空間としたか」「どうやって再編したか」という基本に立ち戻り、プレゼンテーションを組み立てて欲しい。また建築空間の作り込みは重要なポイントであるとも併せて考慮されたい。




小津 誠一
Seiichi Kozu
建築家 / E.N.N. 代表

第一回目より、同コンペの一次審査に審査員として参加させてもらっているが、今回の印象としては、審査員の全得票を得るような力強い作品が少ないことに物足りなさを感じられた。一方で応募作品の過半が得票を得るという全体の底上げは感じられた。一次審査を通過した作者には、どのような視点で歴史的空間として対象を選択し、どのような方法で説得力ある空間を再編するのか、模型やプレゼンテーションによる二次審査での奮起を期待したい。




佐野 浩祥
Hiroyoshi Sano
東洋大学准教授

多くの作品が、入念なりサーチを行っていることに感心する一方で、歴史的空間をアプリアリに価値あるものとして前提していることに違和感を覚えました。つまり、なぜその場所なのか、という議論が十分でないということです。また、コミュニティの形成や賑わいづくり、地域活性化を図るような提案も多かったですが、その手法として果たして建築的操作が適切なのか？可視化されている建築だからこそ可能となるような提案を期待したいです。




戸田 稜
Jo Toda
金沢工業大学准教授

今年は例年にもまして他者への配慮にかけた応募案が多かったように思います。ここでいう他者とは、仮想の住まい手・使い手のことではなくて、皆さんの応募案を最初に見るわたしたち審査員のことです。小さすぎる文字、詰め込み過ぎの情報、平面図、配置図がない透視図によるイメージだけのプレゼンテーション。卒業設計等の再編集はもちろんかまわないわけですが、本コンペの趣旨と応募条件にそったものであればと思います。



村梶 招子
Shoko Murakaji
ハルナツアーキ代表

去年から一次審査に参加しています。今年は去年に比べ小ぶりな作品が多い印象でした。「歴史的空間」について、どう解釈し、どう「再編」しているのか、提案箇所と既存箇所がどこなのか理解できない作品も多く、分かりやすい作品に対しできるだけ素直に検討しよう心がけました。その上で丁寧な分析から導かれるオリジナリティや実現可能性など、内容に共感できるものについて評価し選定を行いました。



吉村 寿博
Toshihiro Yoshimura
吉村寿博建築設計事務所代表

毎年お気に入りの作品がいくつか見つかり、その作品が本選でどのように評価されるか楽しみにしていた。しかし、残念ながら今年はお気に入りの一点が見つけれなかった。一次審査をしながら気になったのは、何を「歴史的空間」と捉え、どのように「再編」したのか見えない作品が多かったこと。このコンペの問いに真正面から応えている応募案がとてもしなかったように感じた。本選ではその印象が裏切られることを期待したい。